

定期相談チェックリスト

各定期診察で確認すべきことのチェックリストは以下のとおりです。

- 患者が正しいアライナーセットを装着していることを確認します。
- 切縁との隙間や、歯とアライナー間のその他のスペースがなく、アライナーがぴったりとフィットしていることを目視で確認します。推奨されている時間アライナーを装着していても切縁との隙間が認められる場合、それは動きが不完全であることを示している可能性があります。=
- 患者が問題なくアライナーを取り外せることを確認します。アライナーがまだきつい場合、患者はさらに1、2週間それを装着する必要があるかもしれません。
- アライナーの状態を調べます。依然として初期状態に見える場合、患者が計画どおり装着していなかったことを示している可能性があります。治療不遵守が疑われる場合、患者と一緒にそれに対処してください。
- 歯列を治療計画の現在のステップと比較して、歯が予定どおり動いていることを確認します。
- 治療遵守チェックポイントが治療計画に示されている場合は特に、すべての歯間のコンタクトが弱いことを確認するためにフロスを使用します。強いコンタクトが見つかったら対処します。
- エンゲイジャーが外れておらず良好な状態であることを確認します。
- 次に予定されているアライナーセットがきちんとフィットすることを確認します。
- 治療計画の書類または3D治療計画を参照し、IPRの実施、エンゲイジャーの取付けや取外しなどの予定されている手順を実施します。
- アライナーを再度取り付け、トリムライン近傍の歯肉が白くなっていないか確認します。白い状態は、時に歯肉、小帯周囲に認められることがありますが、元の印象の歪みによって生じることもあります。多くの場合、これらは軽度であり、アライナーの裏を剪刀で少しトリミングすることによって不快感に対処できます。
- アライナーが歯肉から離れている縁や領域が鋭利でないか確認するため、アライナーの縁を指でなぞるのがよいとする臨床医もいます。
- 装着スケジュールを確認し、患者がアライナーを交換する日付および定期診察の来院日を記録します。

患者が次のアライナーに移る準備ができていることを示す指標として重要なことは？

- ・ 現在のアライナー全体が完全にフィットしている
- ・ 患者は現在のアライナーセットの取外し、取付けが容易にできる
- ・ 治療遵守チェックポイントでコンタクトが弱く、スペースが閉じている
- ・ 予定した歯の動きが起こっている